

厚木保健福祉事務所管内感染症情報

厚木保健福祉事務所管内（厚木市・海老名市・座間市・愛川町・清川村）における感染症の発生情報です。管内での過去5年間の平均、昨年の流行、そして今年の県内と管内の流行状況の一覧グラフになりますので、感染症対策にお役立て下さい。

今週の一言



第41週において厚木保健所管内で梅毒が発生しました。梅毒は、梅毒トレポネーマによる感染症で、感染経路として性的接触、薬物静注・刺青、母子感染などがあります。抗生物質の普及で患者数が減少していましたが、近年、若年女性を中心に報告数が急増しています。コンドームで覆わない部分の粘膜・皮膚との接触でも梅毒は感染することがあるため100%の予防は困難ですが、梅毒に感染するとHIV・エイズを含めた性感染症を合併しやすいため、感染予防としてコンドームの使用が推奨されます。

2019年 第41週（10月7日～10月13日）

（定点報告）

→報告対象外・休診等により報告なし（定点当たりを算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
内科	A	0										
	B	0										
	C	0										
	D	0										
	E	0										
	F	0										
小児科	G	0	4	0	2	6	0	3	4	0	0	0
	H	0	0	1	1	2	1	2	1	0	0	0
	I	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	J	0	5	0	0	7	0	10	1	0	0	0
	K	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0
	L	1	7	2	7	2	0	14	0	1	0	0
	M	1	0	0	1	7	0	2	0	0	0	0
	N	0	0	1	2	14	0	5	0	0	1	3
	O	0	2	0	9	8	1	5	0	0	2	0
	P	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
Q	0	4	0	1	3	0	10	0	0	3	0	
	合計	2	22	4	24	49	2	54	6	2	6	3
	定点あたり	0.12	2.00	0.36	2.18	4.45	0.18	4.91	0.55	0.18	0.55	0.27

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	R	0	4
	S	0	2
	T	0	2
	合計	0	8
	定点あたり	0.00	2.67

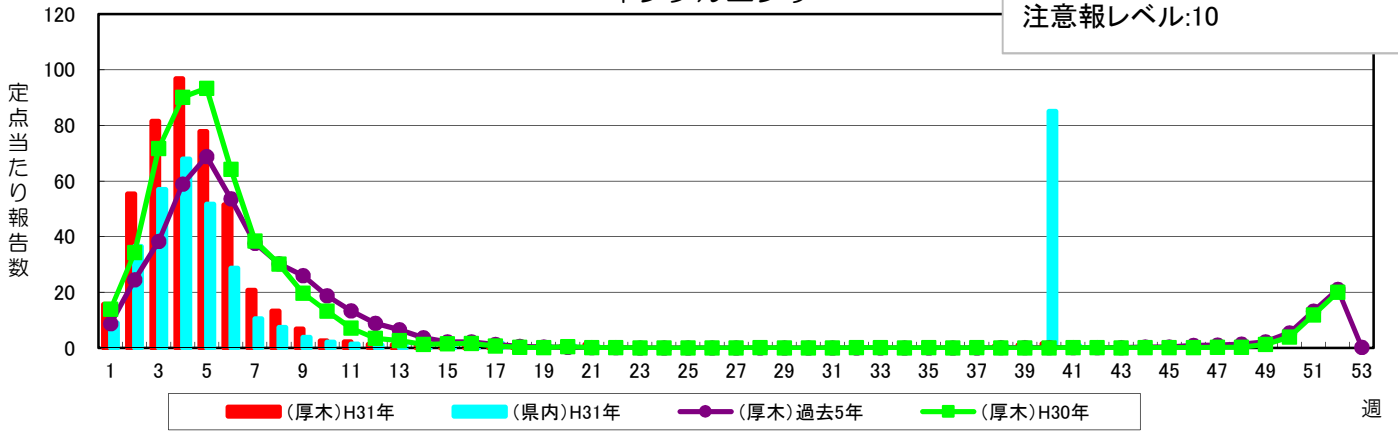
	医療機関	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎*	ロタウイルス**
基幹	U	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

*クラミジア肺炎は、オウム病を除く

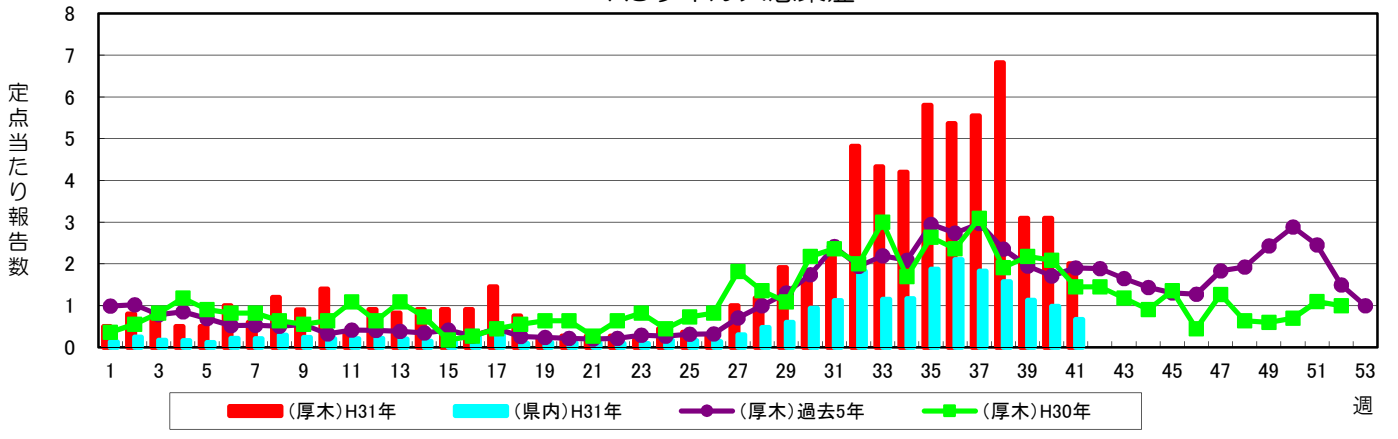
**感染性胃腸炎のうち、病原体がロタウイルスであるもの

インフルエンザ

警報レベル:30(終息基準値:10)
注意報レベル:10

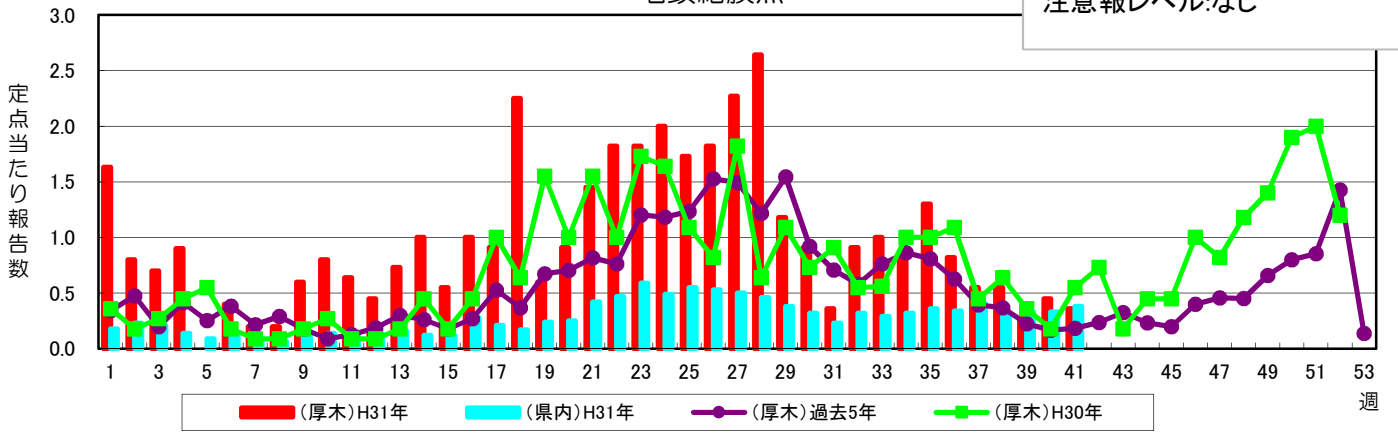


RSウイルス感染症



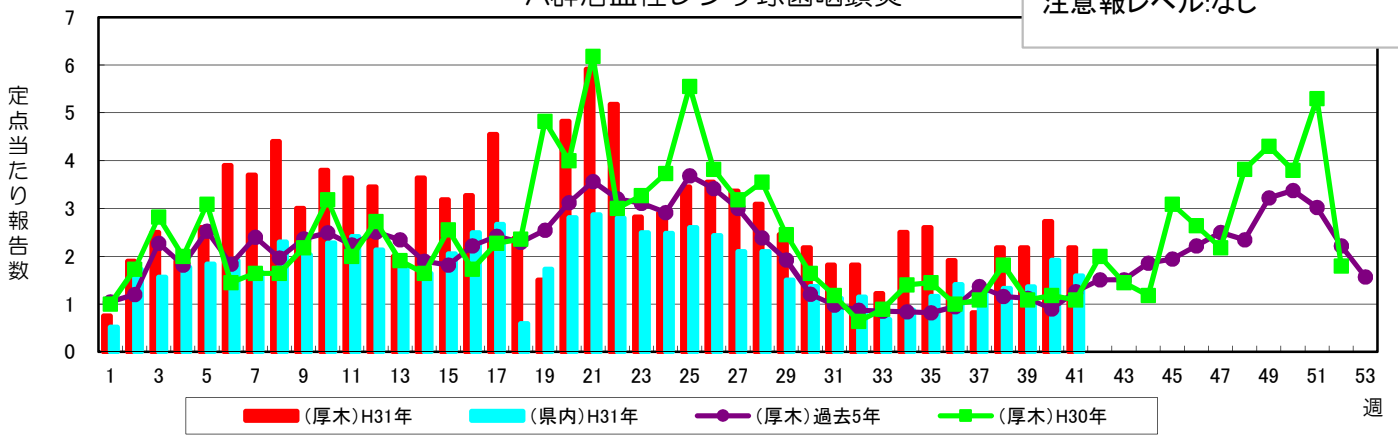
咽頭結膜熱

警報レベル:3(終息基準値:1)
注意報レベル:なし



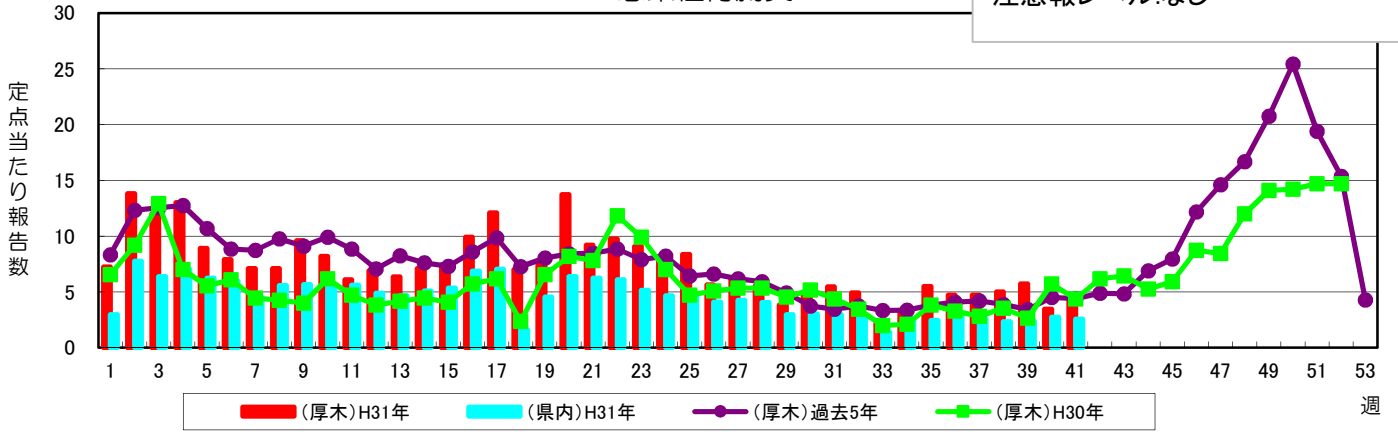
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

警報レベル:8(終息基準値:4)
注意報レベル:なし



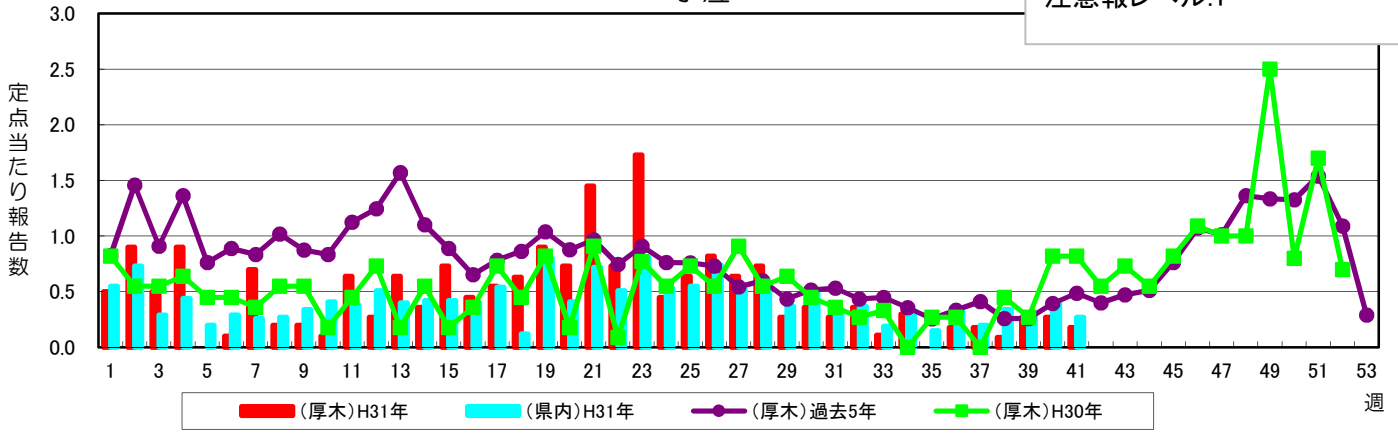
感染性胃腸炎

警報レベル:20(終息基準値:12)
注意報レベル:なし



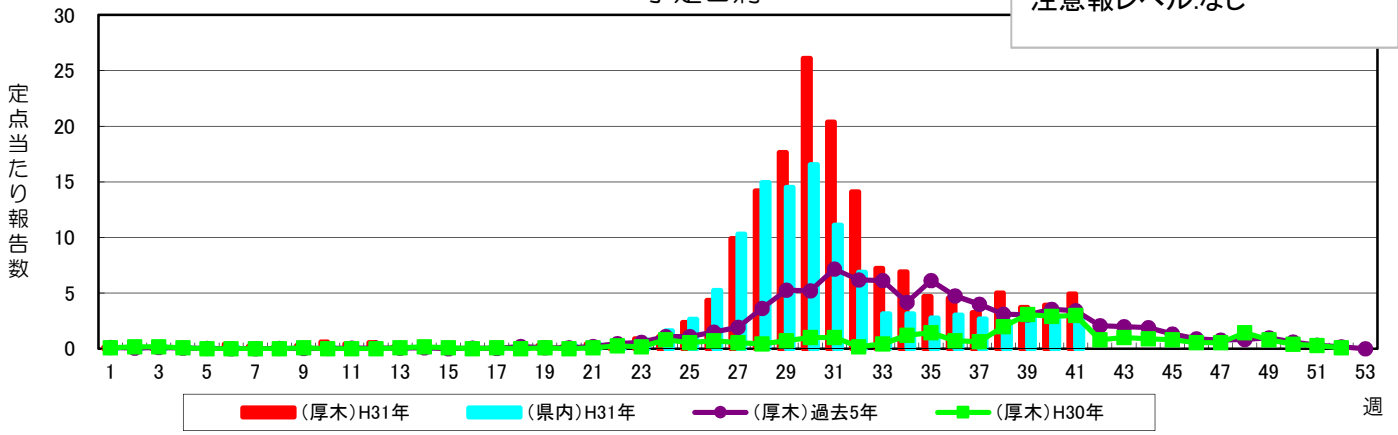
水痘

警報レベル:2(終息基準値:1)
注意報レベル:1



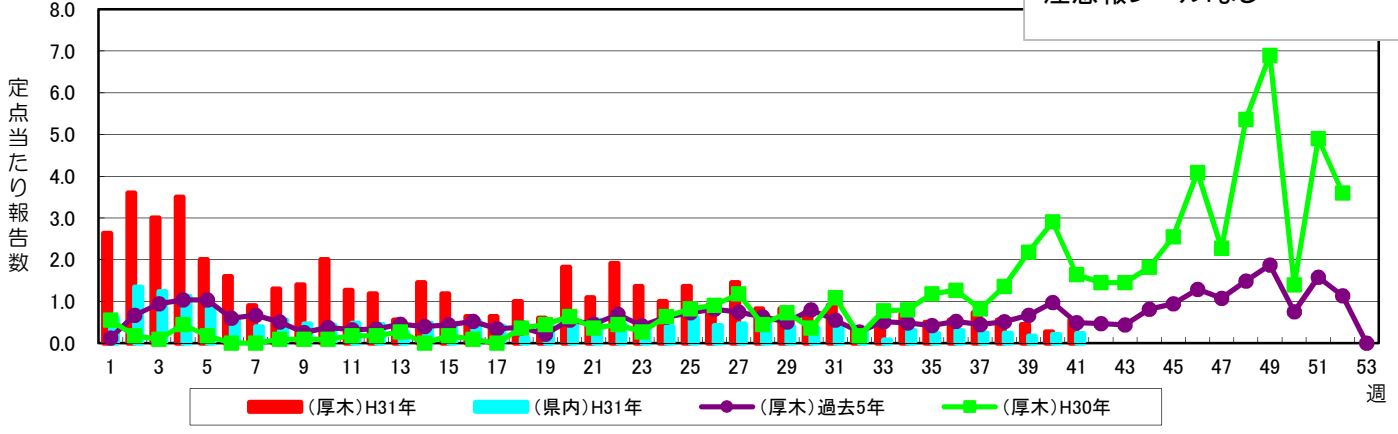
手足口病

警報レベル:5(終息基準値:2)
注意報レベル:なし

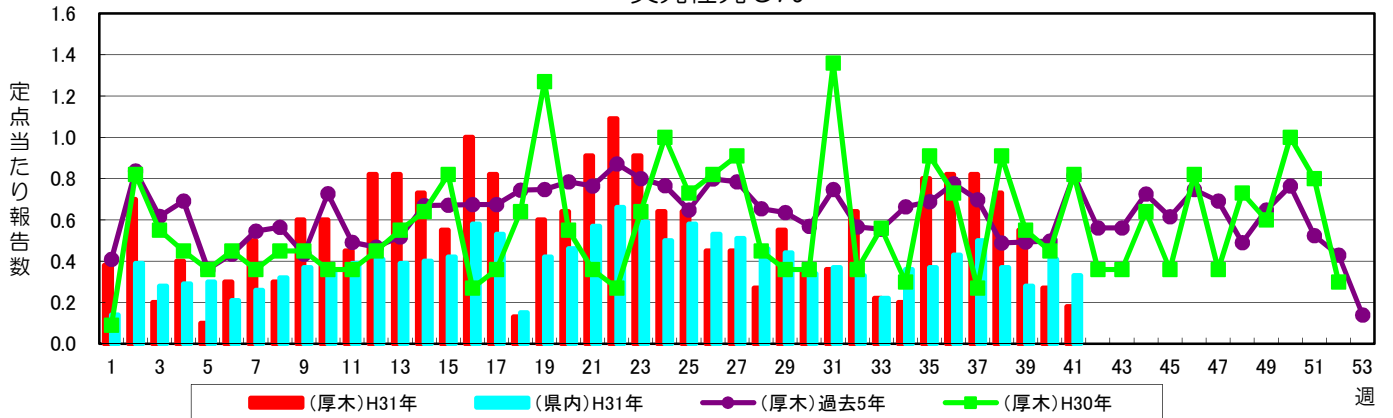


伝染性紅斑

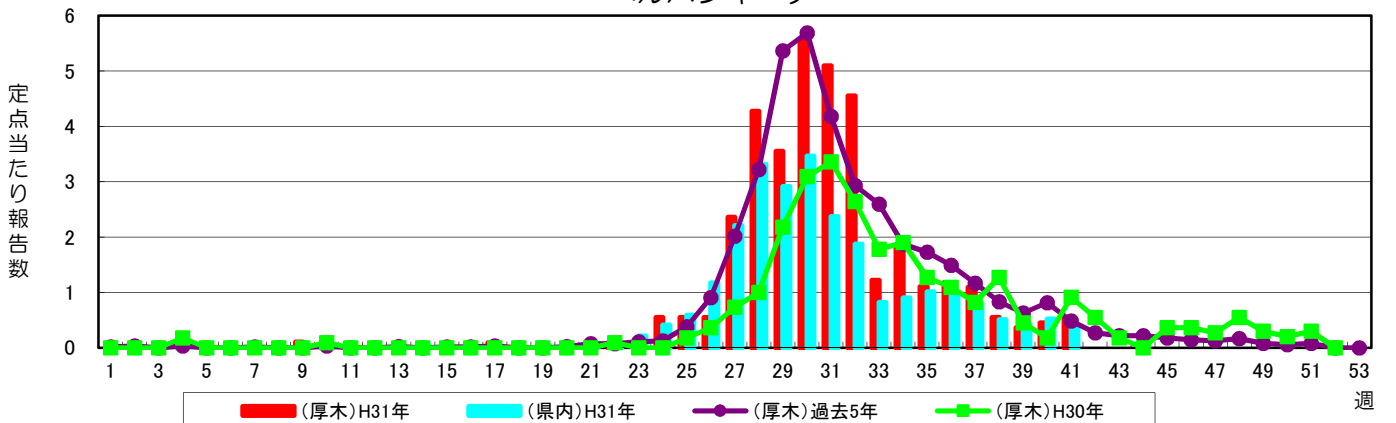
警報レベル:2(終息基準値:1)
注意報レベル:なし



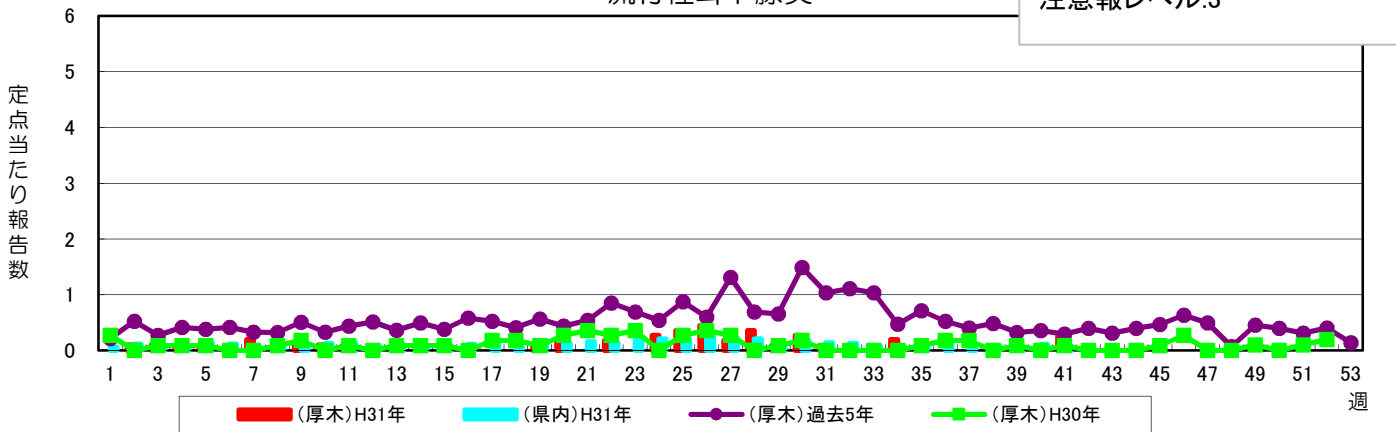
突発性発しん



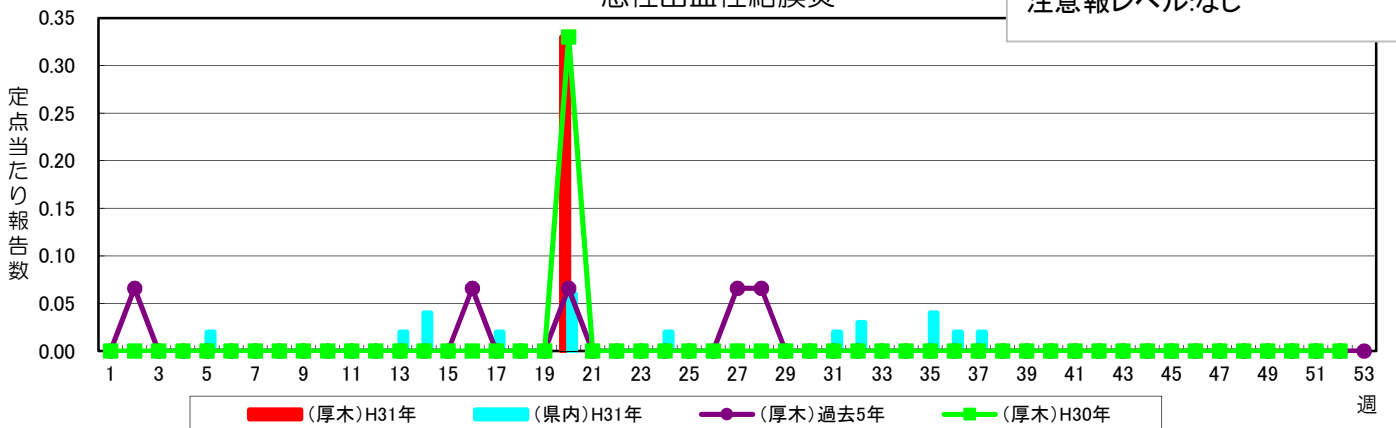
ヘルパンギーナ

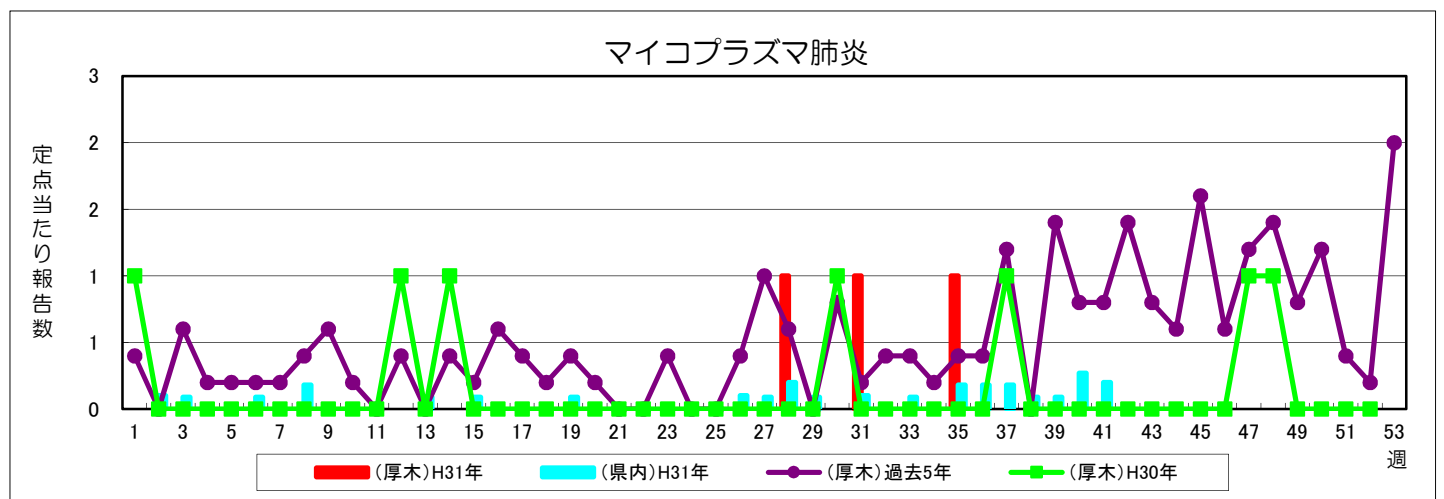
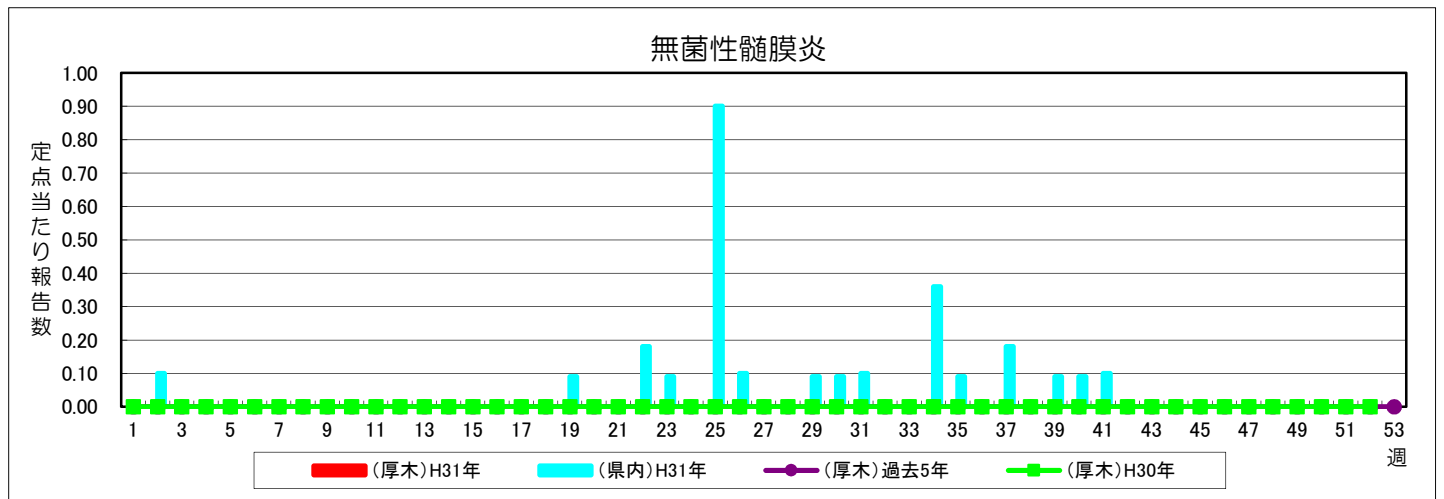
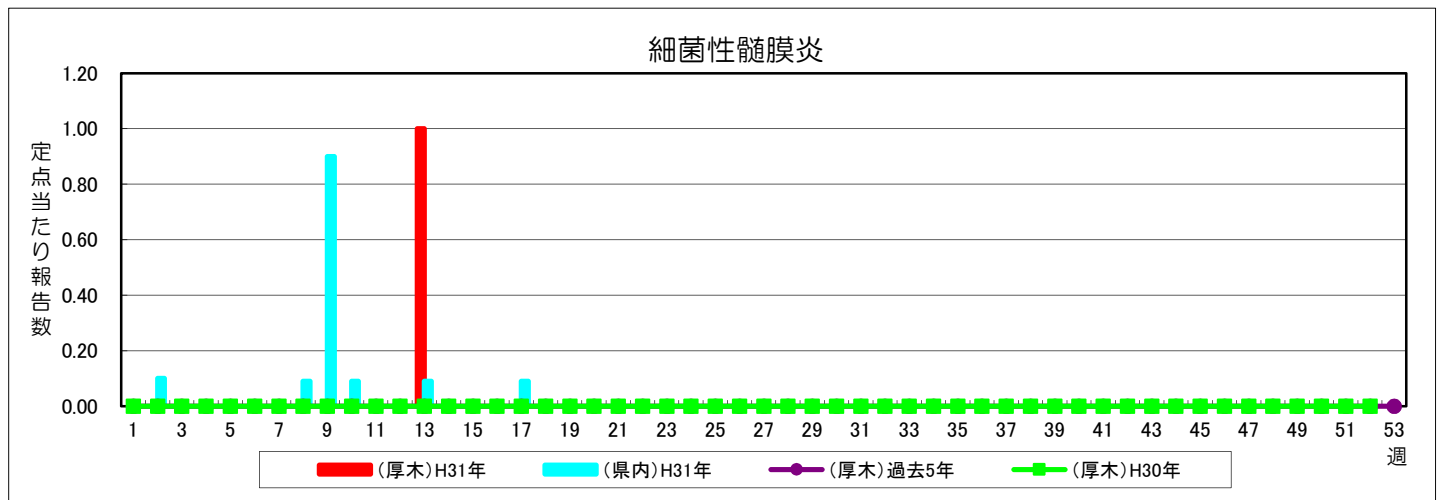
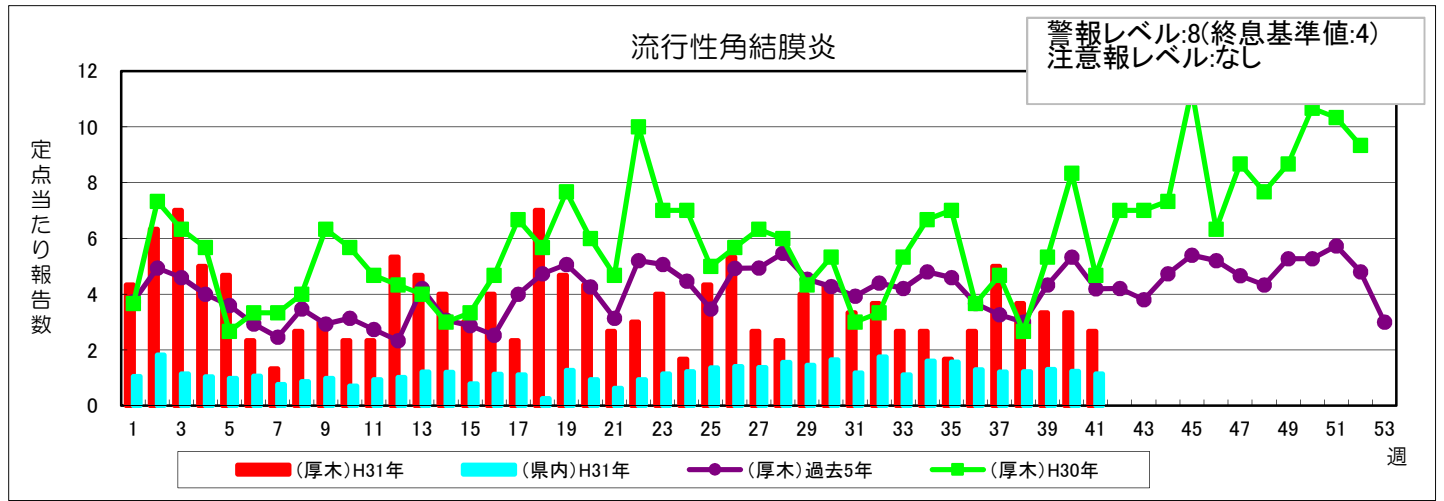


流行性耳下腺炎

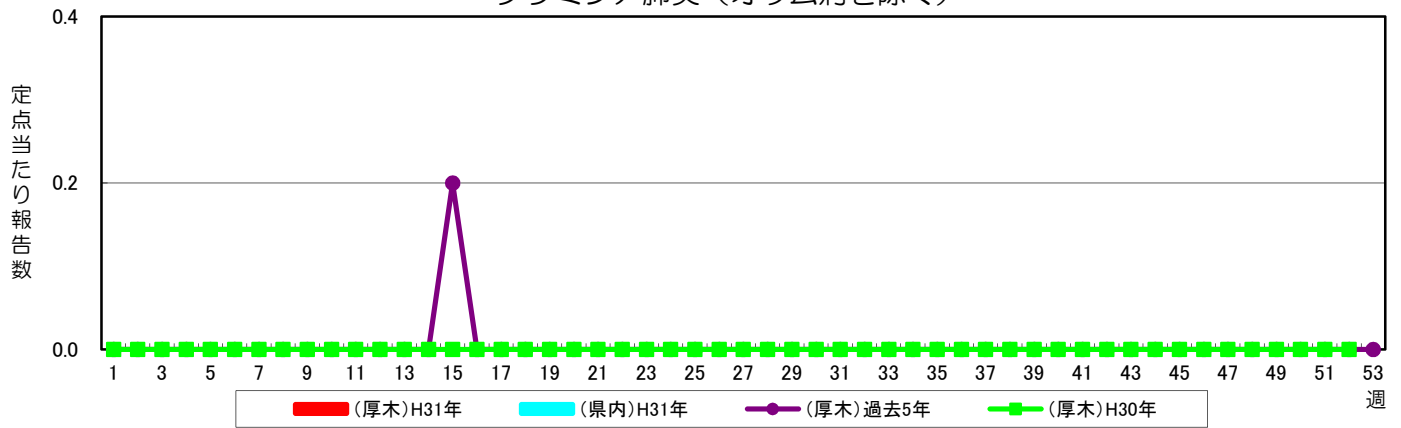


急性出血性結膜炎





クラミジア肺炎（オウム病を除く）



感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）

